

令和5年度
中津川市総合計画推進委員会提言書

令和6年3月22日

中津川市総合計画推進委員会

目 次

1. 総論	・ ・ ・ ・ ・ P. 3
2. 評価・検証概要	・ ・ ・ ・ ・ P. 4
(1) 委員会の目的	・ ・ ・ ・ ・ P. 4
(2) 委員会での検証内容	・ ・ ・ ・ ・ P. 4
(3) 委員会開催経過	・ ・ ・ ・ ・ P. 4
(4) 部会開催経過（各3回・全9会）	・ ・ ・ ・ ・ P. 4
(5) 委員名簿	・ ・ ・ ・ ・ P. 6
3. 評価・検証結果	・ ・ ・ ・ ・ P. 7
I. 第1部会	
(1) 評価対象事業	・ ・ ・ ・ ・ P. 7
(2) 部会報告書（まとめ）	・ ・ ・ ・ ・ P. 7
II. 第2部会	
(1) 評価対象事業	・ ・ ・ ・ ・ P. 8
(2) 部会報告書（まとめ）	・ ・ ・ ・ ・ P. 8
III. 第3部会	
(1) 評価対象事業	・ ・ ・ ・ ・ P. 9
(2) 部会報告書（まとめ）	・ ・ ・ ・ ・ P. 9
4. 資料	
① 第1部会報告書	
② 第2部会報告書	
③ 第3部会報告書	

1 総論

本年度より中津川市総合計画後期事業実施計画の1年目がスタートし、中津川市総合計画推進委員会が中津川市まち・ひと・しごと創生総合戦略を含む後期事業実施計画を総合的に評価検証する役割を担当している。

中期事業実施計画の時にもご参加いただきました委員の皆様に加え、新たに委員に就任いただきました委員の皆様から、幅広い視点で初年度の後期事業実施計画の評価をいただきましたことをまず感謝申し上げたい。また、市役所の担当課の皆様にも検証にあたり準備、説明などいただきましたことを感謝申し上げる。

先に申し上げた通り本年度は後期事業実施計画の初年度ということで、中期事業実施計画の全体の振り返りと共に、昨年度は2つだった部会を3つ設置し、「リニアの宿場を創るまちづくり」（関連5事業）、「中心市街地のにぎわいをつくるまちづくり」（関連5事業）と「人の流れを地域にみちびくまちづくり」（関連6事業）をテーマに部署横断的な意見交換や質疑応答が行われ、検証・評価を実施した。その成果は本報告書にまとめられているように大変大きなものであったと確信している。各部会における事業評価の詳細については、後述される各部会の報告において明確にされているのでそちらを参照していただきたい。

各部会の事業検証の際に共通して指摘されている点が、市民と協働したまちづくりのために市民へ、また外部の方への情報共有の重要性についてである。事業の進捗も大変重要であるがそれと共にそれが周知されることで、市民生活の安心や更なる事業の発展に繋がると考えられる。中津川市は他の自治体と比較して以前から情報発信が得意でないと言われているが、本委員会では情報共有についても留意しつつ、事業計画の実施について検証していきたいと考えている。

後期事業実施計画においては、中期事業実施計画の実施にあたって問題となっていた共通の目的と事業との関連が整理され、目的達成に寄与するような下位目標を設定することができている。事業計画を今後実行する中で常に他の事業との関連、中期事業実施計画の目標と照らし合わせて、有効かつ無駄のない事業実施が今後行われるよう本委員会でも継続して検証していくことを約束して本提言書の総論とする。

中津川市総合計画推進委員会
委員長 須栗 大

2 評価・検証概要

(1) 委員会の目的

- 「中津川市総合計画後期事業実施計画（中津川市まち・ひと・しごと創生総合戦略）」に位置付けた事業の進捗や課題等を評価・検証することで、次の効果を生み出し、事業の推進を図る。
 - ・市の施策や事業を評価し、「なかなか進んでいない」「効果が上がっていない」などの問題点を洗い出すことで、その原因を改善し進捗のスピードアップを図り、効率よく事業効果をあげる。
 - ・事業を横断して評価することで、部を超えた事業の横のつながりを作り出し、連携により事業に相乗効果を生み出す。
 - ・評価結果を広く市民へ周知し情報を共有することで、市民と行政の協働意識を高め、共にまちづくりを推進する。

(2) 委員会での評価・検証内容

- 後期事業実施計画に掲げる事業のうち、重点的に取り組むこととしている「地域創生まちづくり戦略」より「リニアを活かす戦略」について、部会に分かれて次の項目について分野横断的に検証を行う。

部会	目指すまちづくり	評価事業数
第1部会	リニアの宿場を創るまちづくり	5事業
第2部会	中心市街地のにぎわいをつくるまちづくり	5事業
第3部会	人の流れを地域にみちびくまちづくり	6事業

(3) 委員会開催経過

	日にち	議事概要
第1回	令和5年 6月23日(金)	・会長及び副会長の互選について ・令和5年度総合計画推進委員会について ・後期事業実施計画の評価検証事業について ・中期事業実施計画の評価について
第2回	令和5年 11月20日(月)	・中期事業実施計画の評価について
第3回	令和6年 3月22日(金)	・中期事業実施計画評価書のとりまとめについて ・中期事業実施計画評価書の採択 ・後期事業実施計画評価・検証結果のとりまとめについて ・令和5年度中津川市総合計画推進委員会提言書の採択

(4) 部会開催経過（全9回）

		日にち	議事概要
第1部会	第1回	令和5年 6月23日	・部会において検証する事業の決定
	第2回	令和5年 8月8日	・事業の検証
	第3回	令和5年 11月20日	・委員会への報告
第2部会	第1回	令和5年 6月23日	・部会において検証する事業の決定
	第2回	令和5年 7月26日	・事業の検証
	第3回	令和5年 11月20日	・委員会への報告
第3部会	第1回	令和5年 6月23日	・部会において検証する事業の決定
	第2回	令和5年 8月22日	・事業の検証
	第3回	令和5年 11月20日	・委員会への報告

(5) 委員名簿

(令和6年3月22日現在)

【順不同・敬称略】

	氏 名	分 野	部会	備考
委 員 長	須栗 大	教育	第3部会	中京学院大学 教授
副委員長	瀬瀬 康雄	住民	第2部会	東海学園大学 総合企画部 参与
委 員	可知 誠	産業	第1部会	中津川商工会議所 常務理事
委 員	岩木 健	産業	第3部会	中津川北商工会 事務局長
委 員	瀬瀬 理恵	官公庁	第2部会	中津川公共職業安定所 所長
委 員	伊藤 岳明	教育	第1部会	岐阜県立中津川工業高等学校 教頭
委 員	原 嗣典	金融	第2部会	十六銀行中津川支店 支店長
委 員	堀尾 憲慈	労働団体	第1部会	連合岐阜東濃地域協議会 事務局長
委 員	土屋 厚子	住民	第3部会	農業委員
委 員	小木曾 淑子	住民	第1部会	こうじキッチンこぎちゃん(自営業)
委 員	小島 未来	住民	第2部会	子育てサークルはっぴーたん

3 評価・検証結果

I. 第1部会

(1) 評価対象事業

○中津川市総合計画後期事業実施計画地域創生まちづくり戦略の戦略Ⅰ「リニアを活かす戦略」より「①リニアの宿場を創るまちづくり」に定められた次の事業について評価・検証を行った。

分野	事業内容	予算事業名	担当課
地域創生まちづくり戦略 戦略Ⅰ リニアを活かす戦略 ① リニアの宿場を創るまちづくり	i リニア駅周辺の整備	リニア中央新幹線 関連道路整備事業	リニア対策課
		道路新設改良事業	建設課
	ii リニア駅アクセス道路の整備	リニア駅周辺土地 区画整理事業	区画整理課
		リニア駅周辺整備 事業	駅周辺企画課
	iii 西部テクノパークの整備	企業誘致推進事業	工業振興課

(2) 部会報告書（まとめ）

(資料1 第1部会報告書)

リニアに関連した事業の進捗については、リニアの開業を見通すことができない中で、いたずらに事業の進捗を求めるのではなく、市にとって最も良い時期、方法を常に検討しながら事業を実施されたい。

事業を進めるにあたっては、リニア駅周辺をどのようにしていくのかという未来図を広く周知していくことが重要である。

現地を視察したところ、大規模な事業が実際に進められていることを実感し、事業の実施に際して生じる市民生活への影響の大きさを改めて感じ取ることができた。

事業の進捗そのものは様々な要因により、市の動きだけでは制御できないことがあるが、この施策の実施に当たっては、市民に負担と大きな不安を与えていることは想像に難くない。それらの不安を補って余りある期待を抱くことができるように、常に市民にリニア駅周辺の将来像を示していく必要がある。

中津川市が岐阜県の顔として発展していけるように、着実な計画の推進を求める。

Ⅱ. 第2部会

(1) 評価対象事業

○中津川市総合計画後期事業実施計画地域創生まちづくり戦略の戦略Ⅰ「リニアを活かす戦略」より「②中心市街地のにぎわいをつくるまちづくり」に定められた次の事業について評価・検証を行った。

分野	事業内容	予算事業名	担当課
地域創生まちづくり戦略 戦略Ⅰ リニアを活かす戦略 ② 中心市街地のにぎわいをつくるまちづくり	i 中心市街地の磨き上げ	中山道歴史資料館事業	鉱物博物館
		中心市街地活性化推進事業	商業振興課
		商業振興事業	商業振興課
	ii 中心市街地の回遊性の向上	都市計画総務事業	都市住宅課
		ひと・まちテラス運営事業	ひと・まちテラス

(2) 部会報告書（まとめ）

(資料2 第2部会報告書)

中心市街地の活性化の為に必要と考えられるのは、「意識の共有」「幅広い連携」「情報の発信」である。

「意識の共有」について、本年度は中心市街地まちづくりビジョンが策定された。このビジョンを広く市民の方々にも共有し、統一したコンセプトのもとでの街づくりや、明確なターゲットを持った施策に取り組んでももらいたい。

「幅広い連携」について、中心市街地の活性化には商工団体、金融機関や、高校生や大学生などを含めた若い力などとの幅広い分野における連携が必要不可欠である。

「情報の発信」について、魅力的な街づくりが行われていても、知られていなければにぎわいの創出につながらない。様々な媒体を用いて磨き上げた市の魅力を広く発信していく必要がある。

以上のとおり、将来にわたりにぎわいのある中心市街地を形作るためには、新たな中心市街地の拠点である中津川市ひと・まちテラスを核として、まちづくりの「意識を共有」し、「幅広い連携」により資源を磨き上げ、中心市街地がもつ魅力を最大限に発現させるとともに、世界に向けた「情報の発信」によって市の魅力をあらゆる人々に知ってもらうことが必要である。中津川市全体でスピード感をもって取り組んでいくことを求める。

Ⅲ. 第3部会

(1) 評価対象事業

○中津川市総合計画後期事業実施計画地域創生まちづくり戦略の戦略Ⅰ「リニアを活かす戦略」より「③人の流れを地域にみちびくまちづくり」に定められた次の事業について評価・検証を行った。

分野	事業内容	予算事業名	担当課
地域創生まちづくり戦略 戦略Ⅰ リニアを活かす戦略 ③ 人の流れを地域にみちびくまちづくり	i 幹線道路の整備	神坂PAスマートインターチェンジ設置事業	建設課
	ii 地域資源の磨き上げ	外国人観光促進事業	観光課
		周遊観光促進事業	
	iii 周遊観光の促進	次世代交通研究事業	次世代交通研究室
		苗木城跡整備事業	文化振興課
		文化財保護事業	

(2) 部会報告書（まとめ）

(資料3 第3部会報告書)

この施策を実施するうえでは「持続可能性」が鍵となると考えられる。

オーバーツーリズムによる地域環境への影響、地域への還元を伴わない人流の増加による地域商業の疲弊、文化資源の無計画な観光地化による資源の損耗など、無秩序な人流の増加は地域を疲弊させかねない。持続可能な地域の構築には、人流の増加と地域住民の生活との共存共栄が必要である。

人流の増加を地域消費の増加としてだけでなく、農業体験などの体験型観光や、長期滞在・リピート訪問などを推進することによって、訪れた人々と地域との関係性を構築し、関係人口を創出する。創出された関係人口を地域を担う人材として活用し、移住・定住へと繋げ、最後には訪れた人々が地域の住民として今度は人流を受け入れる側となるように、長期的な視点をもって取り組んでいただきたい。

令和5年度
中津川市総合計画推進委員会
第1部会
報告書

令和5年11月20日

中津川市総合計画推進委員会

第1部会

目 次

1. 総合評価	・・・・・・・・ P. 3
2. 検証概要	・・・・・・・・ P. 4
(1) 部会の目的	P. 4
(2) 部会での検証内容	P. 4
(3) 部会開催経過	P. 5
(4) 部会員名簿	P. 5
3. 検証結果	・・・・・・・・ P. 6
施策評価調書	P. 6
令和5年度事業計画書・事業評価書	P. 8

1 総合評価

12年間に渡る中津川市総合計画において、令和5年度はその9年目にあたり、同時に総合計画後期事業実施計画の初年度となる。市の将来都市像である「かがやく人々 やすらげる自然 活気あふれる 中津川」を実現するにあたり、この後期事業実施計画の4年間は12年間の成果を求められる時期である。

総合計画推進委員会において、本年度に評価をおこなうこととした「戦略Ⅰ リニアを活かす戦略」のうち、第1部会では、「①リニアの宿場を創るまちづくり」について評価・検証を行った。この施策は、岐阜県で唯一リニアの駅ができ、岐阜県の東の玄関口として、リニアを活用するまちづくりの顔となる駅と駅周辺を形作るために重要なものである。

評価・検証の方法としては、5つの事業の内容をそれぞれ所管課から聞き取るとともに、実際にリニアの工事が進んでいる現地に赴き、まちづくりの進捗状況を確認した。

まず、リニアに関連した事業の進捗については、リニアの開業が予定より遅れることが見込まれ、その遅れがどの程度となるかを見通すことができない中で苦慮していることが見て取れた。様々な関係者の意見がある中で、いたずらに事業の進捗を求めるのではなく、市にとって最も良い時期、方法を常に検討しながら事業を実施されたい。

事業を進めるにあたっては、リニア駅周辺をどのようにしていくのか、市民に理解されるまちづくりを示していく必要がある。そのためには、市として事業の計画を明確にするとともに、それらによって出来上がる未来図を広く周知していくことが重要である。

実際に事業を実施している現地を視察したところ、机上では理解しきれないほど大規模な事業が実際に進められていることを実感した。また、事業の実施に際して生じる市民生活への影響の大きさを改めて感じ取ることができた。

「①リニアの宿場を創るまちづくり」の評価・検証を実施した結果、事業の進捗そのものは様々な要因により、市の動きだけでは制御できないことがあることが確認できた。そうであったとしても、この施策の実施に当たっては、市民に負担と大きな不安を与えていることは想像に難くない。それらの不安を補って余りある期待を抱くことができるように、「リニア駅周辺が中心市街地や市内各地域と有機的につながる持続可能で魅力的なまち」というリニアを活かした中津川市の将来像を常に市民に示していく必要がある。また、この施策は中津川市だけではなく、岐阜県全域にとって重要な意味を持つものである。中津川市が岐阜県の顔として発展していけるように、着実な計画の推進を求める。

以上、ここに各事業の検証の結果を付して、報告する。

中津川市総合計画推進委員会
第1部会
部会長 可知 誠

2 検証概要

(1) 部会の目的

○委員会の目的を達成するため、中津川市総合計画後期事業実施計画地域創生まちづくり戦略の戦略Ⅰ「リニアを活かす戦略」より「①リニアの宿場を創るまちづくり」について検証を行う。

(2) 部会での検証内容

分野	事業内容	予算事業名	担当課
地域創生まちづくり 戦略 戦略Ⅰ リニアを活 かす戦略 ① リニアの宿場を 創るまちづくり	i リニア駅周辺の整備	リニア中央新幹線関連 道路整備事業	リニア対策課
	ii リニア駅アクセス道 路の整備	道路新設改良事業	建設課
		リニア駅周辺土地区画 整理事業	区画整理課
	iii 西部テクノパークの 整備	リニア駅周辺整備事業	駅周辺企画課
		企業誘致推進事業	工業振興課

(3) 部会開催経過 (全3回)

		日にち	主な議事事項
第1部会	第1回	令和5年 6月23日	・ 検証事業選定
	第2回	令和5年 8月8日	・ 事業検証
	第3回	令和5年 11月20日	・ 報告書策定 ・ 委員会報告

(4) 部会員名簿 (第1部会)

	氏 名	分 野	備 考
部 会 長	可知 誠	産業	中津川商工会議所 常務理事
部 会 員	伊藤 岳明	官公庁	岐阜県立中津川工業高等学校 教頭
部 会 員	堀尾 憲慈	金融	連合岐阜東濃地域協議会 議長
部 会 員	小木曾 淑子	住民	こうじキッチンこぎちゃん(自営業)

施策評価調書

1. 施策の体系

総合計画 施策体系	大区分	11 地域創生まちづくり戦略
	中区分	1 リニアを活かす戦略
	小区分	1 リニアの宿場を創るまちづくり
目指す方向	・豊かな自然、文化や景観など「清流の国ぎふ」「なかつがわらしさ」が感じられる「リニアのまちづくりの顔」となる駅と駅周辺となっている。 ・交通結節点として便利で利用しやすく、必要な機能がコンパクトにまとまった駅と駅周辺となっている。 ・リニアのホームタウンという独自性を活かして、中部総合車両基地関連企業をはじめ、本社機能や研究所などをもつ多様な企業が進出している。 ・岐阜県の東の玄関口として、広域へのアクセス拠点となっている。	

2. 成果指標

成果指標名	土地区画整理事業の整備率				単位：％
年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
目標値	49.9	70.7	82.4	83.7	
実績値					
指標説明	土地区画整理事業の整備率（事業費ベース）				
指標の根拠	R3 9.7％（829,352千円/8,530,000千円）				

成果指標名	リニア関連道路の整備率				単位：％
年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
目標値	40.8	48.3	52.62	56.63	
実績値					
指標説明	東濃東部都市間連絡道路、坂本58号線他、坂本264号線の事業費ベース整備率				
指標の根拠	R3 28.95％（12.31+15.13）/（59.14+35.63）（億円）				

成果指標名	西部テクノパークの整備率				単位：％
年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
目標値	40.08	51.45	52.02	52.54	
実績値					
指標説明	西部テクノパークの整備率（事業費ベース）				
指標の根拠	R3 12.3％（全体事業費からの割合）				

成果指標名					単位：
年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
目標値					
実績値					
指標説明					
指標の根拠					

成果指標名					単位：
年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
目標値					
実績値					
指標説明					
指標の根拠					

成果指標名					単位：
年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
目標値					
実績値					
指標説明					
指標の根拠					

成果指標名					単位：
年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
目標値					
実績値					
指標説明					
指標の根拠					

3. 施策の事業費

年度区分	予算額(千円)	財源内訳(千円)				決算額(千円)
		国・県補助金	地方債	その他	一般財源	
令和 5年度	2,987,353	554,712	762,200	581,580	1,088,861	0
令和 6年度	0	0	0	0	0	0
令和 7年度	0	0	0	0	0	0
令和 8年度	0	0	0	0	0	0

4. 事業

(千円)

事業名	企業誘致推進事業	年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
		予算額	261,880	0	0	0
		決算額	0	0	0	0
事業の概要	- 働く場を求めて若い世代を中心に市外へ流出しており、安心して働く場の創出が求められています。 - 市内企業の振興はもとより、新たな分野の企業を誘致することにより働く場を創出し、活気あふれるまちづくりを目指すため、リニア岐阜県駅の西側に中津川西部テクノパークを整備します。					

事業名	リニア中央新幹線関連道路整備事業	年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
		予算額	1,258,617	0	0	0
		決算額	0	0	0	0
事業の概要	岐阜県の東の新たな玄関口として、周辺地域の振興に資するリニア岐阜県駅の広域的役割を踏まえ、リニア岐阜県駅および車両基地周辺の道路ネットワークを強化し、周辺地域とのアクセス機能を充実させるため、濃飛横断自動車道と一体的に機能する市内幹線道路網を整備するとともに、中心市街地とリニア岐阜県駅を有機的に結びつけ、リニア開業に向けた基盤整備に取り組みます。					

事業名	リニア駅周辺整備事業	年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
		予算額	130,448	0	0	0
		決算額	0	0	0	0
事業の概要	- リニア駅周辺を来訪者のみならず地域住民にとっても使いやすく、にぎわいを生む空間として整備します。 - 岐阜県の東の玄関口として、便利で使いやすい交通結節機能を配置するとともに、豊かな自然や文化など「清流の国ぎふ」「なかつがわらしさ」が感じられる空間づくりを行い、日常的に人々が訪れたいくなる施設を整備します。					

事業名	リニア駅周辺土地区画整理事業	年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
		予算額	1,336,408	0	0	0
		決算額	0	0	0	0
事業の概要	- 広域交通拠点に必要なアクセス道路、駅前広場等の基盤整備を図ります。 - 生活道路の整備や土地造成など民間用地を含めた面的な整備を行い、土地を再配置(換地)することにより、周辺の土地利用を図るとともに、リニア岐阜県駅の設置等による住環境への影響を抑制します。					

事業名		年度				
		予算額				
		決算額				
事業の概要						

事業名		年度				
		予算額				
		決算額				
事業の概要						

事業名		年度				
		予算額				
		決算額				
事業の概要						

令和 5年度事業計画書・事業評価書

1. 事業概要

事業名			リニア中央新幹線関連道路整備事業			事業期間		令和 5年度から 令和 8年度まで		
部・局名			■【リニア都市政策部】			課・所属名		リニア対策課		
予算科目			会計		款		項		目	
			1 一般会計		8 土木費		2 道路橋りょう費		3 道路新設改良費	
施策体系	大区分		3 活気あふれるまち			中区分		2 便利に暮らせるまち		
	小区分		1 道路等基盤の整備			戦略施策		11-1-1 リニアの宿場を創るまちづくり		
事業の概要	・岐阜県の東の新たな玄関口として、周辺地域の振興に資するリニア岐阜県駅の広域的役割を踏まえ、リニア岐阜県駅および車両基地周辺の道路ネットワークを強化し、周辺地域とのアクセス機能を充実させるため、濃飛横断自動車道と一体的に機能する市内幹線道路網を整備するとともに、中心市街地とリニア岐阜県駅を有機的に結びつけ、リニア開業に向けた基盤整備に取り組みます。									
中長期的な目標	・便利で利用しやすくにぎわいのある駅周辺を創出し、広域的な交通結節点として各地域へ円滑にアクセスできる道路の整備を行います。 リニア関連道路（東濃東部都市間連絡道路、坂本58号線他、坂本264号線）の整備率:56.63%									
中長期的な効果	・リニア岐阜県駅の利用者が、二次交通を利用して目的地へ円滑に移動できるような動線の確保ができるとともに、リニア岐阜県駅、車両基地、中心市街地を円滑に結ぶことで各拠点が一体的に機能し、秩序あるまちづくりができます。									
事業費	年度区分	予算額(千円)	財源内訳(千円)				決算額(千円)			
			国・県補助金	地方債	その他	一般財源				
	令和 5年度	1, 258, 617	325, 000	419, 200	2, 000	512, 417	0			
	令和 6年度	0	0	0	0	0	0			
	令和 7年度	0	0	0	0	0	0			
	令和 8年度	0	0	0	0	0	0			

2. 指標

指標名	事業認可区間の道路整備率		指標説明	事業認可区間の道路整備率（市内幹線道路網（東濃東部都市間連絡道路））	単位 %
年度	令和 5年度	令和 6年度		令和 7年度	令和 8年度
目標	34	43.1		49	54.3
実績					
実績の根拠	R3 12.31/59.14(億円)				

指標名	道路整備率		指標説明	道路整備率（市内幹線道路網（坂本58号線他、道坂本264号線））	単位 %
年度	令和 5年度	令和 6年度		令和 7年度	令和 8年度
目標	55.4	58.5		58.7	59.0
実績					
実績の根拠	R3 42.5%(15.13/35.63(億円))				

指標名			指標説明			単位
年度	令和 5年度	令和 6年度		令和 7年度	令和 8年度	
目標						
実績						
実績の根拠						

指標名			指標説明			単位
年度	令和 5年度	令和 6年度		令和 7年度	令和 8年度	
目標						
実績						
実績の根拠						

3. 事業評価

令和 5年度事業の内容

＜東濃東部都市間連絡道路（2工区）＞	331,300千円		
・不動産鑑定、分筆等委託業務、用地購入	A=13,700㎡、物件補償一式、工事（道路工）	L=280m	
＜東濃東部都市間連絡道路（4-1工区）＞	132,500千円		
・不動産鑑定、分筆等委託業務、用地購入	A=7,000㎡、物件補償一式、工事（道路工）	L=200m	
＜坂本58号線他＞	71,000千円		
・不動産鑑定、分筆等委託業務、用地購入	A=500㎡、物件補償一式、工事（道路工）	L=240m	
＜坂本264号線＞	251,500千円		
・不動産鑑定、分筆等委託業務、用地購入	A=370㎡、物件補償一式、工事（道路工）	L=540m	

『参考（全体計画）』

＜東濃東部都市間連絡道路（2工区）＞	総事業費	48.6億円、整備延長	L=4.8km
＜東濃東部都市間連絡道路（4-1工区）＞	総事業費	5.4億円、整備延長	L=0.6km
＜坂本58号線＞	総事業費	24.0億円、整備延長	L=4.8km
＜坂本264号線＞	総事業費	11.0億円、整備延長	L=2.3km

令和 5年度事業の評価結果

- ・リニア岐阜県駅が交通のハブ、交通の中心にできるとよい。濃飛横断自動車道が開通し、路線バスなども市内外の各所から停車し、加子母地区や付知地区からも移動しやすい、広く人が移動する中心として、交通の結節点となるとよい。
- ・中心市街地は中心市街地として魅力を磨き上げて、リニア岐阜県駅で降りられた方をそちらに繋いでいくという絵を描いていただきたい。

令和 5年度事業の改善事項等

令和 5年度事業の実績

令和 5年度事業計画書・事業評価書

1. 事業概要

事業名				道路新設改良事業				事業期間		令和 5年度から 令和 8年度まで	
部・局名		■【建設部】				課・所属名		建設課			
予算科目		会計		款		項		目			
		1 一般会計		8 土木費		2 道路橋りょう費		3 道路新設改良費			
施策体系	大区分	3 活気あふれるまち				中区分	2 便利に暮らせるまち				
	小区分	1 道路等基盤の整備				戦略施策	11-1-3 人の流れを地域にみちびくまちづくり				
事業の概要	・交通の利便性と安全性の確保および生活基盤の向上と地域間の交流の活性化を図ります。										
中長期的な目標	・安全で快適に移動できる道路交通網を整備します。 道路・橋りょう・河川護岸等の新設・改良等に対する取り組みの満足度[市民意識調査]：49% 整備する道路の事業進捗率(整備延長/計画延長2,205m)：56%										
中長期的な効果	・幹線道路と生活関連道路のネットワーク形成による交通渋滞が緩和されます。 ・災害時の避難路の確保、緊急車両の進入が可能になり搬送時間の短縮が見込まれます。										
事業費	年度区分	予算額(千円)	財源内訳(千円)						決算額(千円)		
			国・県補助金	地方債	その他	一般財源					
	令和 5年度	567,633	118,850	142,100	0	306,683	0				
	令和 6年度	0	0	0	0	0	0				
	令和 7年度	0	0	0	0	0	0				
	令和 8年度	0	0	0	0	0	0				

2. 指標

指標名	事業進捗率		指標説明	事業進捗率(整備延長/計画延長2205m)	単位 %
年度	令和 5年度	令和 6年度		令和 7年度	令和 8年度
目標	18(120+290)	35(410+375)		45(785+220)	56(1005+240)
実績					
実績の根拠					

指標名	生活関連道路整備および待避所の設置数	指標説明	予算書資料掲載指標	単位 ヵ所
年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
目標	-	-	-	24
実績				
実績の根拠				

指標名			指標説明			単位
年度	令和 5年度	令和 6年度		令和 7年度	令和 8年度	
目標						
実績						
実績の根拠						

指標名			指標説明			単位
年度	令和 5年度	令和 6年度		令和 7年度	令和 8年度	
目標						
実績						
実績の根拠						

3. 事業評価

令和 5年度事業の内容

- ＜社会資本整備総合交付金＞ 211,700千円
 - ・青木斧戸線関連道路 用地購入 A=1,700㎡、物件補償一式
 - ・中津537号線道路改良工事 L=160m
 - ・五ツ峯～中畑線道路改良工事 L=200m 用地購入 A=1,360㎡、物件補償一式
 - ・井ノ下～山ノ田線道路改良工事 L=50m
- ＜都市構造再編集中支援事業＞ 26,000千円
 - ・町～斧戸線特殊舗装工事 L=326m
- ＜市単独事業＞ 192,380千円
 - ・坂本190号線道路改良工事 L=30m
 - ・市道待避所設置工事 6か所
 - ・道路舗装工事 各地区
 - ・青木斧戸線関連道路 分筆等委託業務
 - ・五ツ峯～中畑線道路改良工事 分筆等委託業務
 - ・中津537号線道路改良工事 分筆等委託業務

令和 5年度事業の評価結果

- ・中津川市全体を見て、中津川市中心市街地や恵北地域、中央道を利用して遠方から来る場合など、車の流れや道路網がどのようになっていくのかをもっと発信し、未来の姿を市民や各方面と共通認識として共有できるとよい。

令和 5年度事業の改善事項等

令和 5年度事業の実績

令和 5年度事業計画書・事業評価書

1. 事業概要

事業名			リニア駅周辺土地区画整理事業			事業期間		令和 5年度から 令和 8年度まで		
部・局名			■【リニア都市政策部】			課・所属名		区画整理課		
予算科目			会計		款		項		目	
			1 一般会計		8 土木費		4 都市計画費		4 土地区画整理費	
施策体系	大区分		3 活気あふれるまち			中区分		2 便利に暮らせるまち		
	小区分		1 道路等基盤の整備			戦略施策		11-1-1 リニアの宿場を創るまちづくり		
事業の概要	・広域交通拠点に必要なアクセス道路、駅前広場等の基盤整備を図ります。 ・生活道路の整備や土地造成など民間用地を含めた面的な整備を行い、土地を再配置(換地)することにより、周辺の土地利用を図るとともに、リニア岐阜県駅の設置等による住環境への影響を抑制します。									
中長期的な目標	・便利で利用しやすくにぎわいのある駅周辺が創出され、広域的な交通結節点として、各地域へ円滑にアクセスできる道路を整備します。 - 土地区画整理事業の整備率：83.7% ・施工区域内で輻輳するＪＲ東海および岐阜県の各工事との調整を行いながら工事を進めます。									
中長期的な効果	・計画的な事業の進捗により、リニア開業時に土地区画整理事業を概成し、アクセス道路や駅前広場などの必要な公共施設を整備することができます。									
事業費	年度区分	予算額(千円)	財源内訳(千円)				決算額(千円)			
			国・県補助金	地方債	その他	一般財源				
	令和 5年度	1,336,408	227,515	343,000	448,551	317,342	0			
	令和 6年度	0	0	0	0	0	0			
	令和 7年度	0	0	0	0	0	0			
	令和 8年度	0	0	0	0	0	0			

2. 指標

指標名			指標説明			単位
年度	令和 5年度	令和 6年度		令和 7年度	令和 8年度	
目標						
実績						
実績の根拠						

指標名			指標説明			単位
年度	令和 5年度	令和 6年度		令和 7年度	令和 8年度	
目標						
実績						
実績の根拠						

指標名			指標説明			単位
年度	令和 5年度	令和 6年度		令和 7年度	令和 8年度	
目標						
実績						
実績の根拠						

指標名			指標説明			単位
年度	令和 5年度	令和 6年度		令和 7年度	令和 8年度	
目標						
実績						
実績の根拠						

3. 事業評価

令和 5年度事業の内容

<道路築造工事> 208,160千円

- ・中洗井線道路築造工事 W=16m L=200m
- ・区画道路築造工事 W=6m L=1,220m
- ・T4-3人道橋（リニア本線南側）築造工事 N=1基

<敷地造成・整地工事> 183,800千円

<建物等補償> 618,898千円

- ・建物補償 9件
- ・電柱移転補償 11本

<調査設計等委託業務> 85,897千円

- ・電線共同溝詳細設計
- ・擁壁設計
- ・建物調査
- ・水道受託業務

『参考』

- ・事業面積 A=約21.6ha
- ・事業施行期間 H29年10月17日～R11年3月31日
- ・総事業費 85.3億円

令和 5年度事業の評価結果

- ・坂本地区に車両基地などが完成すると、聞くところによると1000人規模で働かれる人がいるかもしれないとのこと、その方々のための住宅を整備して人口を増やすという考えもあるといい。
- ・やはり、市民、住民にとって関心が強い事項は、どのような商業施設ができるのかということである。駅ができることで、単に人流や物流だけでなく、市民にとって買い物など便利になって欲しい。

令和 5年度事業の改善事項等

令和 5年度事業の実績

令和 5年度事業計画書・事業評価書

1. 事業概要

事業名				リニア駅周辺整備事業				事業期間		令和 5年度から 令和 8年度まで	
部・局名		■【リニア都市政策部】				課・所属名		駅周辺企画課			
予算科目		会計		款		項		目			
		1 一般会計		8 土木費		4 都市計画費		4 土地区画整理費			
施策体系	大区分	3 活気あふれるまち				中区分	2 便利に暮らせるまち				
	小区分	1 道路等基盤の整備				戦略施策	11-1-1 リニアの宿場を創るまちづくり				
事業の概要	・リニア駅周辺を来訪者のみならず地域住民にとっても使いやすく、にぎわいを生む空間として整備します。 ・岐阜県の東の玄関口として、便利で使いやすい交通結節機能を配置するとともに、豊かな自然や文化など「清流の国ぎふ」「なかつがわらしさ」が感じられる空間づくりを行い、日常的に人々が訪れたいくなる施設を整備します。										
中長期的な目標	・便利で利用しやすくにぎわいのある駅周辺を創出します。 エリアデザイン指針の策定 駅周辺のまちづくり方針の決定										
中長期的な効果	・便利で利用しやすい交通結節点としての二次交通への円滑な乗換え機能を備えた、にぎわいのある駅周辺が創出されます。										
事業費	年度区分	予算額(千円)	財源内訳(千円)						決算額(千円)		
			国・県補助金	地方債	その他	一般財源					
	令和 5年度	130,448	0	0	31,029	99,419	0				
	令和 6年度	0	0	0	0	0	0				
	令和 7年度	0	0	0	0	0	0				
	令和 8年度	0	0	0	0	0	0				

2. 指標

指標名	各施設の整備率		指標説明	各施設の整備率(交通結節機能・交流機能・景観機能)	単位 %
年度	令和 5年度	令和 6年度		令和 7年度	令和 8年度
目標	12.5	34.2		61.7	65.5
実績					
実績の根拠	3.5% (200,091/5,737,166千円)				

指標名			指標説明			単位
年度	令和 5年度	令和 6年度		令和 7年度	令和 8年度	
目標						
実績						
実績の根拠						

指標名			指標説明			単位
年度	令和 5年度	令和 6年度		令和 7年度	令和 8年度	
目標						
実績						
実績の根拠						

指標名			指標説明			単位
年度	令和 5年度	令和 6年度		令和 7年度	令和 8年度	
目標						
実績						
実績の根拠						

3. 事業評価

令和 5年度事業の内容

＜駅周辺整備業務＞ 35,628千円

- ・美乃坂本駅仮設駅前広場（南側）実施設計（新規）
美乃坂本駅自由通路および橋上駅舎化整備業務の作業ヤード確保のため、仮設駅前広場の実施設計を実施
- ・リニア岐阜県駅周辺エリアデザイン検討
エリアデザイン指針策定に向け、関係機関と協議を実施
- ・リニア岐阜県駅周辺まちづくり検討
交通結節点としての都市機能誘導を図るための企業ヒアリング、住民等の意見聴取を実施
- ・リニア岐阜県駅および美乃坂本駅周辺バリアフリー基本構想作成
リニア岐阜県駅および美乃坂本駅周辺において、バリアフリー法に基づくバリアフリー基本構想を作成

＜先行買収用地買戻し＞ 91,736千円

- ・土地開発公社が区画整理区域内で先行買収した用地の買戻し 13筆 5,415㎡

令和 5年度事業の評価結果

- ・施策の目指す方向にある「必要な機能がコンパクトにまとまった駅周辺」に向けて何が必要なのか検討し、示していけるとよい。
- ・中津の中心市街地があり、馬籠もあり、恵北もある中で、市として坂本をどういうまちにしたいというイメージを示す必要がある。
- ・リニア岐阜県駅を利用される方々が電車を待ったり、お土産を買っていくなど、時間を過ごすことができる充実した施設ができるといい。
- ・リニア岐阜県駅の中や駅周辺に電車の待ち時間に遊べる場所があったり、近くに中山道も通っているので、海外の方が中山道を元気に歩いてもらえるような、そんな駅周辺になるとよい。

令和 5年度事業の改善事項等

令和 5年度事業の実績

令和 5年度事業計画書・事業評価書

1. 事業概要

事業名		企業誘致推進事業				事業期間	令和 5年度から 令和 8年度まで	
部・局名		■【商工観光部】			課・所属名		工業振興課	
予算科目		会計		款		項		目
		1 一般会計		7 商工費		1 商工費		2 工業振興費
施策体系	大区分	3 活気あふれるまち			中区分	1 働く場所があり住み続けられるまち		
	小区分	1 工業振興			戦略施策	11-1-1 リニアの宿場を創るまちづくり		
事業の概要	・働く場を求めて若い世代を中心に市外へ流出しており、安心して働く場の創出が求められています。 ・市内企業の振興はもとより、新たな分野の企業を誘致することにより働く場を創出し、活気あふれるまちづくりを目指すため、リニア岐阜県駅の西側に中津川西部テクノパークを整備します。							
中長期的な目標	・リニアホームタウンの独自性を活かし、本社機能や研究所等をもつ多様な企業を誘致するため西部テクノパークを整備します。 西部テクノパークの整備率（事業費ベース）：48.92%							
中長期的な効果	・働き手が望む様々な業種、職種の働く場が確保され、市内での勤労者が増加します。							
事業費	年度区分	予算額(千円)	財源内訳(千円)				決算額(千円)	
			国・県補助金	地方債	その他	一般財源		
	令和 5年度	261,880	2,197	0	100,000	159,683	0	
	令和 6年度	0	0	0	0	0	0	
	令和 7年度	0	0	0	0	0	0	
	令和 8年度	0	0	0	0	0	0	

2. 指標

指標名	本社機能移転等による奨励金交付事業者数		指標説明	本社機能移転等による奨励金交付事業者数		単位 社(累計)
年度	令和 5年度	令和 6年度		令和 7年度	令和 8年度	
目標	1	2		3	4	
実績						
実績の根拠						

指標名	市外本社企業訪問回数		指標説明	市外本社企業訪問回数		単位 回
年度	令和 5年度	令和 6年度		令和 7年度	令和 8年度	
目標	50	50		50	50	
実績						
実績の根拠						

指標名	事業の進捗率		指標説明	事業の進捗率（西部テクノパーク）		単位 %
年度	令和 5年度	令和 6年度		令和 7年度	令和 8年度	
目標	40.08	51.45		52.02	52.54	
実績						
実績の根拠	全体事業費からの割合					

指標名			指標説明			単位
年度	令和 5年度	令和 6年度		令和 7年度	令和 8年度	
目標						
実績						
実績の根拠						

3. 事業評価

令和 5年度事業の内容

- ＜中津川西部テクノパーク整備事業＞ 21,684千円
 - ・テクノパーク詳細設計業務
- ＜中津川西部テクノパーク事業用地購入＞ 159,424千円
 - ・用地購入費
- A=11.8ha
 - ・立木、建物補償費
 - ・用地分筆測量登記業務
 - ・土地等鑑定業務
- ＜開発可能性調査＞ 2,000千円
 - ・工場用地開発可能性調査
- ＜企業立地動向調査＞ 2,393千円
 - ・企業立地動向調査 400社
 - ・企業情報調査 5社

令和 5年度事業の評価結果

- ・中津川市内の高校にリニアに特化した学科を創設してはどうかという話があるが、就職先の問題がある。リニアに特化した学科を創設して、毎年JRに全生徒を就職させてくれるのであればいいのだが、そうはならない。
- ・リニア車両基地と駅ができるにあたり、より多くの市民がリニア関連に就職できるとよい。
- ・企業誘致を行うにあたって、やはりリニアというものは効果がある。県内外で様々な自治体が企業誘致を行っている中で、リニア開業というアドバンテージを最大限に活かしてもらいたい。

令和 5年度事業の改善事項等

令和 5年度事業の実績

令和5年度
中津川市総合計画推進委員会
第2部会
報告書

令和5年11月20日

中津川市総合計画推進委員会

第2部会

目 次

1. 総合評価	・・・・・・・・ P. 3
2. 検証概要	・・・・・・・・ P. 5
(1) 部会の目的	P. 5
(2) 部会での検証内容	P. 5
(3) 部会開催経過	P. 6
(4) 部会員名簿	P. 6
3. 検証結果	・・・・・・・・ P. 7
施策評価調書	P. 7
令和5年度事業計画書・事業評価書	P. 9

1 総合評価

令和5年度は中津川市総合計画後期事業実施計画の初年度であり、12年間に渡る総合計画の仕上げの4年間の最初の年である。今年度の総合計画推進委員会においては、その後期事業実施計画において施策全体をけん引させる位置づけとして定められた「地域創生まちづくり戦略」より「戦略Ⅰ リニアを活かす戦略」を評価することとした。

その中で本第2部会は「②中心市街地のにぎわいをつくるまちづくり」について評価・検証を行った。中心市街地は市の顔と言える場所であり、中心市街地ににぎわいがある都市は市全域にも活気あふれるまちとなることから、市全体のにぎわいの創出のためにもこの施策は重要なものである。評価にあたっては、施策を構成する主な5事業の内容を市の各課から聞き取るとともに、中心市街地を実際に歩いて回ることで、課題や強み等を評価・検証した。

本年度は中心市街地に交流、学び、にぎわいの拠点となる中津川市ひと・まちテラスが完成し、さらに令和6年度から10年間の中心市街地のまちづくりの方向性を示す中心市街地まちづくりビジョンが策定され、中心市街地が新たな段階を迎えた時期である。

中心市街地には、中山道を中心とした貴重な歴史を伝える路地、街並みなどの資源が残されている。そして、それらの資源を若い力がリノベーションなどに利活用しようとする動きや、新たに官民連携による公共空間の活用の動きがみられた。

しかしながら、人口減少、高齢化の進行により、中心市街地の人口密度は年々低下しており、空き地や空き家も増加している。今後も後継者不足により空き店舗が多数発生するという懸念がある。

それらの課題に対して、中心市街地の活性化の為に必要と考えられるのは、「意識の共有」「幅広い連携」「情報の発信」である。

まず、「意識の共有」について、先述のとおり、本年度は中心市街地まちづくりビジョンが策定された。このビジョンを市の内部は当然として、中心市街地のみならず、広く市民の方々にも「中心市街地はこのような姿を目指しているのだ」という意識を共有することが必要である。そうすることで初めて統一したコンセプトのもとでの街づくりや、明確なターゲットを持った施策に取り組めるのではないだろうか。

次に「幅広い連携」である。本部会において評価を行った事業については、市の内部において連携を行っていることが確認できた。しかし、中心市街地に民間の事業者が増えていくには、市、商工団体、金融機関などとの連携が必要であり、中心市街地ににぎわいを呼び込むには、高校生や大学生などを含めた若い力との連携が不可欠である。市の内部は当然として、幅広い分野において連携していく必要がある。

最後に「情報の発信」である。どれだけ市に魅力があっても、魅力的な街づくりが行わ

れていても、それが知られていなければにぎわいを創出することはできない。現代においてはSNSの継続した活用は必須である。それだけではなく、様々な人々から、様々な媒体を用いて磨き上げた市の魅力を広く発信していく必要がある。

以上のとおり、将来にわたりにぎわいのある中心市街地を形作るためには、新たな中心市街地の拠点である中津川市ひと・まちテラスを核として、まちづくりの「意識を共有」し、「幅広い連携」により古くからある隠れた資源を磨き上げ、意欲のある若者にその力を十分に発揮させ、中心市街地がもつ魅力を最大限に発現させるとともに、世界に向けた「情報の発信」によって市の魅力をあらゆる人々に知ってもらうことが求められている。そのために、今回評価・検証を行った担当課のみならず、中津川市全体でスピード感をもって取り組んでいくことを求める。

以上、ここに各事業の検証の結果を付して、報告する。

中津川市総合計画推進委員会
第2部会
部会長 瀬瀬 康雄

2 検証概要

(1) 部会の目的

○委員会の目的を達成するため、中津川市総合計画後期事業実施計画地域創生まちづくり戦略の戦略Ⅰ「リニアを活かす戦略」より「②中心市街地のにぎわいをつくるまちづくり」について検証を行う。

(2) 部会での検証内容

分野	事業内容	予算事業名	担当課
地域創生まちづくり 戦略 戦略Ⅰ リニアを活 かす戦略 ② 中心市街地のに ぎわいをつくるまち づくり	i 中心市街地の磨き上 げ	中山道歴史資料館事業	鉾物博物館
		中心市街地活性化推進 事業	商業振興課
		商業振興事業	商業振興課
	ii 中心市街地の回遊性 の向上	都市計画総務事業	都市住宅課
		ひと・まちテラス運営 事業	ひと・まちテラス

(3) 部会開催経過（全3回）

		日にち	主な議事事項
第2部会	第1回	令和5年 6月23日	・検証事業選定
	第2回	令和5年 7月26日	・事業検証
	第3回	令和5年 11月20日	・報告書策定 ・委員会報告

(4) 部会員名簿（第2部会）

	氏 名	分 野	備 考
部 会 長	瀬瀬 康雄	住民	東海学園大学 総合企画部 参与
部 会 員	瀬瀬 理恵	官公庁	中津川公共職業安定所 所長
部 会 員	原 嗣典	金融	十六銀行中津川支店 支店長
部 会 員	小島 未来	住民	子育てサークルはっぴーたん 代表

令和 5年度事業計画書・事業評価書

1. 事業概要

事業名		中山道歴史資料館事業				事業期間		令和 5年度から 令和 8年度まで	
部・局名		■【文化スポーツ部】			課・所属名		鉾物博物館		
予算科目		会計 1 一般会計		款 10 教育費		項 6 社会教育費		目 5 博物館費	
施策体系	大区分	1 人々がかがやくまち			中区分	6 歴史文化に魅力があるまち			
	小区分	1 歴史・文化			戦略施策	11-1-2 中心市街地のにぎわいをつくるまちづくり			
事業の概要	- 江戸時代から明治時代の中山道に関わる古文書等の資料収集、研究および展示等を行うとともに、市民の生涯学習や文化活動等を積極的に支援します。 - 地域文化の紹介に努め、ボランティアでの参加など「人々がかがやくまち中津川：歴史文化に魅力があるまち」を目指します。								
中長期的な目標	資料館を効果的に運営し、市民の方が地域の歴史や文化に誇りを持つことができるよう普及活動を実施します。 中山道歴史資料館利用者数：36,000人								
中長期的な効果	多くの方が興味、関心および知識を高めることにより、生涯学習や文化活動意識の醸成が図られ、後世への伝承につながります。								
事業費	年度区分	予算額(千円)	財源内訳(千円)				決算額(千円)		
			国・県補助金	地方債	その他	一般財源			
	令和 5年度	18,246	0	0	992	17,254	0		
	令和 6年度	0	0	0	0	0	0		
	令和 7年度	0	0	0	0	0	0		
	令和 8年度	0	0	0	0	0	0		

2. 指標

指標名	解説資料数		指標説明	ボランティアによる資料の解説数	単位 件
年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
目標	1	1	1	1	
実績					
実績の根拠	R3 1件				

指標名	中山道に関する企画展の開催回数		指標説明	中山道に関する企画展の開催回数	単位 回
年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
目標	4	4	4	4	
実績					
実績の根拠					

指標名	中山道に関する教室等の開催回数		指標説明	中山道に関する教室等の開催回数	単位 回
年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
目標	36	36	36	36	
実績					
実績の根拠					

指標名	中山道歴史資料館利用者数		指標説明	予算書資料掲載指標	単位 人
年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
目標	33,000	34,000	35,000	36,000	
実績					
実績の根拠					

3. 事業評価

令和 5年度事業の内容

- ・ 館の管理運営
- ・ 企画展の開催 前期、後期各 1 回
- ・ 六斎市特別展の開催 1回/月
- ・ 歴史講演会の開催 1回
- ・ 歴史講座開催 2回/月、文学講座 2回/月
- ・ 学校、各種団体への出前授業・出前講座の開催（随時）
- ・ 無料デーの開催 博物館共通 2回、六斎市 11回、十日市 1回、春・秋の中山道まつり 各1回
- ・ 中高生職場体験受け入れ

令和 5年度事業の評価結果

- ・ 人員配置の問題があるが、学校に出向いて出張授業をする等の地元の学校に対するアピールが効果的ではないか。
- ・ 施設を持続可能なものにするには、入館料によって施設の経費をある程度賄うという意識も必要である。他の施設についても同様であるが、例えば駐車場などを無料にする必要はない。公共用施設、また文化施設であるので、公費が投入されることは必要であるが、有料にすることによって得た金銭を当該施設の整備や、集客に向けた施策に活用するという意識が必要である。

令和 5年度事業の改善事項等

令和 5年度事業の実績

令和 5年度事業計画書・事業評価書

1. 事業概要

事業名		中心市街地活性化推進事業				事業期間	令和 5年度から 令和 8年度まで
部・局名		■【商工観光部】			課・所属名	商業振興課	
予算科目		会計 1 一般会計		款 7 商工費	項 1 商工費	目 1 商業振興費	
施策体系	大区分	3 活気あふれるまち			中区分	1 働く場所があり住み続けられるまち	
	小区分	2 商業振興			戦略施策	11-1-2 中心市街地のにぎわいをつくるまちづくり	
事業の概要	・市の顔である中心市街地の魅力を高め、市全体のイメージ向上に波及させるために、中心市街地で行われる集客イベントや個店強化に対する取組みの支援を行います。 ・中心市街地エリアの価値を高めるために、中心市街地活性化基本計画に基づき各種事業を実施するとともに、次期計画である中心市街地まちづくりビジョン・アクションプランを策定し、事業展開します。						
中長期的な目標	・中心市街地の商業店舗を増やします。 中心市街地地区内の創業件数：10件/年 ・中心市街地の空き店舗を減らします。 中心市街地地区内の空き店舗数：15件 ・市の顔である中心市街地を活発にします。 中心市街地地区内の歩行者交通量：6,557人						
中長期的な効果	・中心市街地地区内に歩行者や観光客が増加し、まちのにぎわいが回復します。 ・中心市街地地区内に雇用機会と新しいコンテンツが創出され、エリアの価値が高まります。						
事業費	年度区分	予算額(千円)	財源内訳(千円)				決算額(千円)
			国・県補助金	地方債	その他	一般財源	
	令和 5年度	19,087	4,500	0	0	14,587	0
	令和 6年度	0	0	0	0	0	0
	令和 7年度	0	0	0	0	0	0
	令和 8年度	0	0	0	0	0	0

2. 指標

指標名	公共空間の活用回数		指標説明	公共空間の活用回数		単位 回
年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
目標	1	1 (検証・制度構築)	3 (制度構築・実施)	5		
実績						
実績の根拠	R3 1回 (社会実験実施回数)					

指標名	六斎市等イベント参加者数		指標説明	六斎市等イベント参加者数		単位 人
年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
目標	64,900	64,900	64,900	64,900		
実績						
実績の根拠						

指標名			指標説明			単位
年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
目標						
実績						
実績の根拠						

指標名			指標説明			単位
年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
目標						
実績						
実績の根拠						

3. 事業評価

令和 5年度事業の内容

＜集客イベントの支援＞ 3,100千円

- ・元気都市づくり支援事業

(中山道中津川宿「六斎市」、中山道まつり、音楽のまちづくり事業、商店街活性化事業)

＜中心市街地まちづくり事業実施計画(アクションプラン)策定事業＞(新規) 6,000千円

- ・中心市街地まちづくりビジョンを実現させるために実施する個別・具体的な事業計画の策定

＜中心市街地活性化協議会補助金＞ 1,070千円

- ・中心市街地活性化協議会運営補助

＜まちづくり組織事業費補助金＞ 1,500千円

- ・中心市街地仮想マップ制作事業(新規)

・中心市街地空き店舗等総合対策タスクフォース事業(建築士などの専門家同行による空き店舗調査および活用方法の検討・提案、空き店舗ツアー、リノベーションによるエリア再生の研究、広報)

＜リノベーションによるまちづくりの推進＞(新規) 3,000千円

- ・中心市街地まちづくり講演会事業
- ・中心市街地リノベーション推進事業

令和 5年度事業の評価結果

・新規出店やリノベーションなどで新たに生じた集客力を街中の回遊に繋げられるとよい。一例として、市内の隠された歴史や文化による魅力、それを見つける喜びを用いたクイズラリーのように、ゲーム感覚で楽しめるものにより、学びの刺激などを回遊性に繋げ、それらを上手に発信していく。

・飲食は集客や街の活性化に対して大きな影響を持つ。それらを発信するにはSNSなどが大きいのではないかと。

・中心市街地まちづくりビジョン等の計画は重要であり、ビジョン等を全職員に浸透させ、それをさらに中心市街地の方々と共に共有することが大事である。そのためには、近隣で事業を行っている方や、市民の方々、中心市街地を訪れた方々にもビジョンに基づいてまちづくりが行われていることを知っていただくことが大事である。

・チェーン店等の誘致ではなく、リノベーションなどにより古い建物を活かしていくとのことであるが、どのような事業者に来て欲しいのか等を明確に示す、コンセプトが必要である。

・初めて事業を行う方に対しては支援が必要であり、金融機関から借入れをするための事業計画の作成など、商工会議所などとも連携してサポートして行く枠組みの整備と、その発信も行う必要がある。

・中心市街地に人を呼び込むには、駐車場の整備も必要であり、また、駐車場がどこにあるのかという情報を訪れた方々に発信する必要がある。

・中津川市はお菓子が有名である。にぎわい特産館が取り壊されるにあたり、例えば中心市街地の中に、まちづくりのコンセプトとして、何軒もあるお菓子屋さんを一堂に軒を連ねて配置することができれば、人が集まってくる。そういった流れができると、人が集まるのではないかと。

令和 5年度事業の改善事項等

令和 5年度事業の実績

令和 5年度事業計画書・事業評価書

1. 事業概要

事業名			商業振興事業			事業期間		令和 5年度から 令和 8年度まで	
部・局名			■【商工観光部】			課・所属名		商業振興課	
予算科目			会計		款		項		目
			1 一般会計		7 商工費		1 商工費		1 商業振興費
施策体系	大区分		3 活気あふれるまち			中区分		1 働く場所があり住み続けられるまち	
	小区分		2 商業振興			戦略施策		11-1-2 中心市街地のにぎわいをつくるまちづくり	
事業の概要	・商業振興のために、商工会議所、北商工会、金融機関、関係団体との連携強化を図ります。 ・市内の約90%を占める中小企業および個人事業者の事業継続のために、円滑な金融支援を行います。 ・古いまち並みや歴史的資産を活用し、中津川らしさを前面に打ち出すために、空き店舗等を活用して開業する企業又は個人の支援を行います。								
中長期的な目標	・市内の商業を盛んにします。 市内商業総売上高：131,253百万円 ・中心市街地地区内の商業店舗を増やします。 中心市街地地区内の創業件数：10件/年 ・中心市街地地区内の空き店舗を減らします。 中心市街地地区内の空き店舗数：15件								
中長期的な効果	・中小企業および小規模事業者への総合的な支援が図られ、安定した事業継続がなされます。 ・中心市街地内での雇用機会の創出や新しい商業コンテンツがもたらされ、エリアの価値が向上します。								
事業費	年度区分		予算額(千円)		財源内訳(千円)				決算額(千円)
					国・県補助金		地方債	その他	一般財源
	令和 5年度		281,201		6,800		0	204,452	69,949
	令和 6年度		0		0		0	0	0
	令和 7年度		0		0		0	0	0
	令和 8年度		0		0		0	0	0

2. 指標

指標名	空き店舗、創業・第2創業支援補助金交付件数		指標説明	空き店舗、創業・第2創業支援補助金交付件数		単位 件（累計）
年度	令和 5年度	令和 6年度		令和 7年度	令和 8年度	
目標	20	40		50	60	
実績						
実績の根拠						

指標名	事業承継支援制度利用件数		指標説明	事業承継支援制度利用件数		単位
年度	令和 5年度	令和 6年度		令和 7年度	令和 8年度	
目標	制度研究	制度研究		制度研究	1件	
実績						
実績の根拠						

指標名			指標説明			単位
年度	令和 5年度	令和 6年度		令和 7年度	令和 8年度	
目標						
実績						
実績の根拠						

指標名			指標説明			単位
年度	令和 5年度	令和 6年度		令和 7年度	令和 8年度	
目標						
実績						
実績の根拠						

3. 事業評価

令和 5年度事業の内容

- ＜商工団体等支援事業＞ 22,350千円
- ・商工団体への事業補助金（中津川商工会議所、中津川北商工会）
- ＜中小企業支援対策事業＞ 213,452千円
- ・中小企業小口融資制度信用保証料および利子補給 60件
- ・小規模事業者経営改善資金融資および創業支援融資の利子補給 60件
- ＜空き店舗対策事業＞ 3,500千円
- ・空き店舗等の改修に対する支援 7件
- ＜創業・第二創業支援事業＞ 10,100千円
- ・新規創業および第二創業に対する支援 18件
- ・一定の要件を満たす方に対する補助金額の上乗せ
- ＜駅前ロータリーの改修＞（新規） 3,000千円
- ・大型バスを駅前バスレーンへ安全に進入させるための改良工事

令和 5年度事業の評価結果

- ・行動制限が解除され、外国人観光客が増えている中で、インバウンドを強化するには海外の方々へのサポートも必要であり、その点についてはまだまだこれからである。
- ・市内店舗の中には、外国人の方々に来てもらわない方がいいというような店もあるようである。そういった店は、地元の人に来てもらい、地元の人にお金を落としてもらった方がよいという話もある。
- ・コンセプトが重要である。外国人観光客を対象とするのか、地元の人を対象にするのか、または他の市町村から来ている人を対象とするのか、ターゲットごとに採るべき手段が異なるので、ある程度ターゲットを明確にしなければならない。

令和 5年度事業の改善事項等

令和 5年度事業の実績

令和 5年度事業計画書・事業評価書

1. 事業概要

事業名			都市計画総務事業			事業期間		令和 5年度から 令和 8年度まで	
部・局名		■【リニア都市政策部】			課・所属名		都市住宅課		
予算科目		会計		款		項		目	
		1 一般会計		8 土木費		4 都市計画費		1 都市計画総務費	
施策体系	大区分	3 活気あふれるまち			中区分	2 便利に暮らせるまち			
	小区分	3 住宅の整備			戦略施策	11-1-2 中心市街地のにぎわいをつくるまちづくり			
事業の概要	・リニア中央新幹線岐阜県駅の設置や人口減少社会など、中津川市を取り巻く環境が大きく変化していることから、これらに的確に対応し持続可能な都市構造とするため、都市計画による秩序あるまちづくりを行います								
中長期的な目標	・リニア開業や人口減少社会に対応した、持続可能な土地利用を実現します。 良好な住環境基盤の増加 住宅団地開発事業奨励金交付件数（累計）：1件 ・中心市街地の魅力を向上させる効果的な活動を行います。 公共空間活用社会実験：3回/年								
中長期的な効果	・無秩序な開発等の抑制と持続可能な民間開発の誘導、中心市街地の魅力向上等により、将来に向けたまちづくりが進みます。								
事業費	年度区分	予算額(千円)	財源内訳(千円)				決算額(千円)		
			国・県補助金	地方債	その他	一般財源			
	令和 5年度	33,550	5,500	0	107	27,943	0		
	令和 6年度	0	0	0	0	0	0		
	令和 7年度	0	0	0	0	0	0		
	令和 8年度	0	0	0	0	0	0		

2. 指標

指標名	社会実験（イベント）開催回数・実装したプロジェクト数	指標説明	社会実験（イベント）開催回数・実装したプロジェクト数	単位
年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
目標	3回	-	-	-
実績				
実績の根拠				

指標名	補助件数、住宅団地開発区画数	指標説明	住宅団地開発（面積1,000㎡以上）における狭小（200㎡未満、居住誘導区域内については160㎡未満）区画数	単位
年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
目標	1件 0区画	1件 0区画	1件 0区画	1件 0区画
実績				
実績の根拠				

指標名	指標説明	単位
年度	令和 5年度	令和 6年度
目標		
実績		
実績の根拠		

指標名	指標説明	単位
年度	令和 5年度	令和 6年度
目標		
実績		
実績の根拠		

3. 事業評価

令和 5年度事業の内容

＜都市計画関連業務＞ 19,922千円

- ・坂本地区における特定用途制限地域の指定に伴う都市計画データ修正
- ・都市計画法に基づき実施する都市計画区域内の人口、産業、土地利用、交通などの現況調査（都市計画基礎調査）

＜公共空間活用検討業務＞ 1,000千円

- ・まちなかへの人の誘導、滞留による中心市街地活性化のための公園、広場などでの実証実験

＜住宅団地開発事業奨励金＞ 10,000千円

- ・良好な居住環境をつくる宅地開発を促進するため、民間事業者による住宅団地開発事業への奨励金交付

令和 5年度事業の評価結果

- ・公共空間について利活用という形で取り組んでいる一方で、やはり空き家や空き店舗が問題である、特に駅の近くのレンガビルが老朽化し、ほとんど空いてしまっている。そういったところに何か事業を呼び込むことが必要であり、そうしなければ中心市街地や公共空間も含めて人が集まらないのではないかと。
- ・中心市街地を盛り上げるには、若者の考え方、エネルギーをどんどん採用できる仕組みづくりが必要である。

令和 5年度事業の改善事項等

令和 5年度事業の実績

令和 5年度事業計画書・事業評価書

1. 事業概要

事業名		ひと・まちテラス運営事業				事業期間		令和 5年度から 令和 8年度まで	
部・局名		■【商工観光部】				課・所属名		ひと・まちテラス	
予算科目		会計		款		項		目	
		1 一般会計		7 商工費		1 商工費		1 商業振興費	
施策体系	大区分	3 活気あふれるまち				中区分	1 働く場所があり住み続けられるまち		
	小区分	2 商業振興				戦略施策	11-1-2 中心市街地のにぎわいをつくるまちづくり		
事業の概要	・リニア開業を見据え、中心市街地活性化基本計画に基づき、子育て支援や市民交流、学び、観光の拠点となる場を提供します。 ・市民にとって利便性の高い複合施設として、中心市街地のにぎわい創出と活性化を図ります。								
中長期的な目標	・中心市街地のにぎわいを創出します。 中心市街地地区内の1日あたりの歩行者通行量：6,557人								
中長期的な効果	・中心市街地における人の流れが活発であり、市全体の活性化が図られます。								
事業費	年度区分	予算額(千円)	財源内訳(千円)				決算額(千円)		
			国・県補助金	地方債	その他	一般財源			
	令和 5年度	69,752	0	0	1,033	68,719	0		
	令和 6年度	0	0	0	0	0	0		
	令和 7年度	0	0	0	0	0	0		
	令和 8年度	0	0	0	0	0	0		

2. 指標

指標名	ひと・まちテラス利用者数		指標説明	ひと・まちテラス利用者数		単位 人
年度	令和 5年度	令和 6年度		令和 7年度	令和 8年度	
目標	430,000	431,000		433,000	435,000	
実績						
実績の根拠						

指標名			指標説明			単位
年度	令和 5年度	令和 6年度		令和 7年度	令和 8年度	
目標						
実績						
実績の根拠						

指標名			指標説明			単位
年度	令和 5年度	令和 6年度		令和 7年度	令和 8年度	
目標						
実績						
実績の根拠						

指標名			指標説明			単位
年度	令和 5年度	令和 6年度		令和 7年度	令和 8年度	
目標						
実績						
実績の根拠						

3. 事業評価

令和 5年度事業の内容

- ・＜イベント等運営＞ 5,700千円
- ・イベント開催時委託料、謝礼等
- ・＜施設管理＞ 64,052千円
- ・貸館受付等窓口業務
- ・施設清掃業務
- ・施設設備の維持・保守・管理・点検業務等
- ・施設ホームページ設計作成委託

『参考』

- ・R3年度実績 中心市街地の1日あたりの歩行者通行量：3,200人

令和 5年度事業の評価結果

- ・どれだけ素晴らしい取り組みを行っていても、知らなければ行っていないのと一緒にである。そのためSNSの活用は進めるべきである。
- ・ターゲット層について、いかに女性の気持ちを掴めるかが今の社会のキーであり、そういった層に対してはSNSの活用などによって、今行っていることを知っていただくということが非常に大事である。
- ・施設を持続可能なものにするには、入館料によって施設の経費をある程度賄うという意識も必要である。他の施設についても同様であるが、例えば駐車場などを無料にする必要はない。公共用施設、また文化施設であるので、公費が投入されることは必要であるが、有料にすることによって得た金銭を当該施設の整備や、集客に向けた施策に活用するという意識が必要である。

令和 5年度事業の改善事項等

令和 5年度事業の実績

令和5年度
中津川市総合計画推進委員会
第3部会
報告書

令和5年11月20日

中津川市総合計画推進委員会

第3部会

目 次

1. 総合評価	・・・・・・・・ P. 3
2. 検証概要	・・・・・・・・ P. 4
(1) 部会の目的	P. 4
(2) 部会での検証内容	P. 4
(3) 部会開催経過	P. 5
(4) 部会員名簿	P. 5
3. 検証結果	・・・・・・・・ P. 6
施策評価調書	P. 6
令和5年度事業計画書・事業評価書	P. 9

1 総合評価

中津川市総合計画推進委員会第3部会として、中津川市総合計画後期事業実施計画の「地域創生まちづくり戦略」より「リニアを活かす戦略」のうち「人の流れを地域にみちびくまちづくり」の施策についての評価・検証を実施した。

リニア中央新幹線の駅と車両基地ができるという好機を最大限に活用するには、駅周辺の発展だけではなく、その波及効果を市内全域に行き渡らせることが重要である。この「人の流れを地域にみちびくまちづくり」は、そのために必要不可欠な施策であり、リニア中央新幹線開業直後のみならず、そのさらに未来を見据えた取り組みが求められる。

この施策を実施するうえでは、市の計画にも掲げられている道路等の基盤の整備による移動手段の確保、地域各地の魅力の磨き上げによる集客力の向上、周遊観光の促進による地域内の回遊はもちろん重要であるが、更に鍵となるのは「持続可能性」であろう。

オーバーツーリズムによる地域環境への影響、地域への還元を伴わない人流の増加による地域商業の疲弊、文化資源の無計画な観光地化による資源の損耗など、何らの施策もない無秩序な人流の増加は、逆に地域を疲弊させ衰退を招きかねない。しかしながら、人が訪れることのない地域は、これもまた衰退を避けられず、持続可能な地域の構築には、人流の増加と地域住民の生活との共存共栄が必要である。

そういった問題に対して第3部会の評価・検証においては、市が取り組んでいる次世代交通の推進、観光客が地域で消費する仕組みの構築、文化資源の商用的な活用などへの意見、提案を行った。当然にして部会において出された施策、意見をただそのまま何らの検討もなく実施することを求めるものではないが、意見の中にある持続可能性の向上に対する意図を汲み取り、施策に反映されたい。

また、さらには人流の増加を地域消費の増加としてだけではなく、農業体験などの体験型観光や、長期滞在・リピート訪問などを推進することによって、訪れた人々と地域との関係性を構築し、関係人口を創出する。創出された関係人口を地域を担う人材として活用し、移住・定住へと繋げ、最後には訪れた人々が地域の住民として今度は人流を受け入れる側となるように、長期的な視点をもって取り組んでいただきたい。

以上、ここに各事業の検証の結果を付して、報告する。

中津川市総合計画推進委員会
第3部会
部会長 須栗 大

2 検証概要

(1) 部会の目的

○委員会の目的を達成するため、中津川市総合計画後期事業実施計画地域創生まちづくり戦略の戦略Ⅰ「リニアを活かす戦略」より「③人の流れを地域にみちびくまちづくり」について検証を行う。

(2) 部会での検証内容

分野	事業内容	予算事業名	担当課
地域創生まちづくり 戦略Ⅰ リニアを活 かす戦略 ③ 人の流れを地域 にみちびくまちづく り	i 幹線道路の整備	神坂PAスマートイン ターチェンジ設置事業	建設課
		外国人観光促進事業	観光課
	ii 地域資源の磨き上げ	周遊観光促進事業	
		次世代交通研究事業	次世代交通研究室
	iii 周遊観光の促進	苗木城跡整備事業	文化振興課
		文化財保護事業	

(3) 部会開催経過（全3回）

		日にち	主な議事事項
第1部会	第1回	令和5年 6月23日	・検証事業選定
	第2回	令和5年 8月22日	・事業検証
	第3回	令和5年 11月20日	・報告書策定 ・委員会報告

(4) 部会員名簿（第1部会）

	氏 名	分 野	備 考
部 会 長	須栗 大	教育	中京学院大学 教授
部 会 員	岩木 健	産業	中津川北商工会 事務局長
部 会 員	土屋 厚子	住民	農業委員

施策評価調書

1. 施策の体系

総合計画 施策体系	大区分	11 地域創生まちづくり戦略
	中区分	1 リニアを活かす戦略
	小区分	3 人の流れを地域にみちびくまちづくり
目指す方向	・濃飛横断自動車道や（仮称）神坂PA スマートインターチェンジの整備などにより市域東西軸と南北軸の広域道路網が効果的に整備されている。 ・自然・歴史・文化・食などの地域の魅力が磨き上げられ、活用されることで持続可能な観光地経営が確立されている。 ・市内に点在する観光資源が結び付けられ、周遊・滞在・宿泊型観光が推進されている。 ・周辺自治体や、関係自治体と連携し、それぞれがもつ観光資源の魅力を相乗的に向上させる広域観光が推進されている。 ・地域の拠点と人・ものを繋ぐ新たなモビリティサービス（自動運転技術の導入やシェアリングなど）が実装され、市域全体をつなぐまちづくりが推進されている。	

2. 成果指標

成果指標名	リニアを活かした道路などの整備に満足している市民の割合【市民意識調査】			単位：％
年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
目標値	(42)	43	(44)	45
実績値	-	-	-	-
指標説明	リニアを活かした道路などの整備に満足している市民の割合【市民意識調査】（とても満足・まあ満足）			
指標の根拠	R4 40.9%			

成果指標名	観光入込客数			単位：万人
年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
目標値	525	535	545	555
実績値	-	-	-	-
指標説明	観光入込客数（観光入込客数調査）			
指標の根拠	R3 268万人			

成果指標名	宿泊者数			単位：千人
年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
目標値	158	165	172	179
実績値	-	-	-	-
指標説明	宿泊者数（宿泊者数調査）			
指標の根拠	R3 88千人			

成果指標名	1人当たり観光消費額			単位：円
年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
目標値	5,490	5,655	5,825	6,000
実績値	-	-	-	-
指標説明	1人当たり観光消費額（観光アンケート）			
指標の根拠	R3 5,172円			

成果指標名				単位：
年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
目標値				
実績値				
指標説明				
指標の根拠				

成果指標名				単位：
年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
目標値				
実績値				
指標説明				
指標の根拠				

成果指標名				単位：
年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
目標値				
実績値				
指標説明				
指標の根拠				

3. 施策の事業費

年度区分	予算額(千円)	財源内訳(千円)				決算額(千円)
		国・県補助金	地方債	その他	一般財源	
令和 5年度	1,363,937	350,405	422,300	22,564	568,668	0
令和 6年度	0	0	0	0	0	0
令和 7年度	0	0	0	0	0	0
令和 8年度	0	0	0	0	0	0

4. 事業

(千円)

事業名	次世代交通研究事業	年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
		予算額	8,746	0	0	0
		決算額	0	0	0	0
事業の概要	・東京大学との共同連携「超高速交通網と接続する分散型拠点の設計と地域の持続的在り方に関する共同研究」の成果を実現し、リニア中央新幹線や中央自動車道神坂PAスマートインターチェンジなど、新たな交通網と中心市街地や地域の拠点を結び、地域交通の維持向上や持続的に発展するまちづくりを進めます。					

事業名	観光推進事業	年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
		予算額	72,646	0	0	0
		決算額	0	0	0	0
事業の概要	・リニア開業を見据え観光資源の発掘、磨き上げを行うとともに、関係団体等と連携し受入体制の強化とおもてなし力の向上および観光振興による地域活性化を加速させるため、市全体での戦略的な観光を推進します。 ・首都圏等をはじめ広くプロモーション活動を展開し、知名度向上および新たなターゲット層の開拓を行い一層の誘客を図ります。					

事業名	観光広域連携事業	年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
		予算額	9,058	0	0	0
		決算額	0	0	0	0
事業の概要	・リニア開業を見据え首都圏をはじめとする全国各地からの誘客を図るために、周辺自治体と連携し、各自治体を持つ魅力ある観光資源を結ぶ観光ルートを構築することで相乗効果を生み出し、観光入込客数の増加につなげます。 ・アクセス面のつながりを活かし周辺自治体（下呂市、東美濃地域、木曽地域）と連携し広域観光を促進します。また、文化や歴史などの背景をテーマに、名古屋市を中心に展開する尾張藩事業連携自治体および杉原千畝のゆかりの地として高山市等と連携し、広域観光を推進します。					

事業名	観光施設管理事業	年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
		予算額	73,892	0	0	0
		決算額	0	0	0	0
事業の概要	・観光施設の適切な管理を行い、健全な状態の維持に努めるとともに、効率的な運営を行います。 ・老朽化が進んだ施設等について適切な時期に修繕および撤去等を行い、市内を訪れる観光客に安全、安心と快適さを提供します。					

事業名	外国人観光促進事業	年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
		予算額	2,883	0	0	0
		決算額	0	0	0	0
事業の概要	・リニア開業を見据え、国際的に選ばれる観光地となるため、国県と歩調を合わせ外国人観光客の誘客に積極的に取り組みます。 ・外国人目線でのSNSやブログによる多言語での情報発信を強化し、本市を知る機会を増やすことで、外国人観光客の増加を図るとともに、市内での滞在時間、観光消費額の増加につなげるための仕組みづくりに官民連携して取り組みます。					

事業名	周遊観光促進事業	年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
		予算額	10,904	0	0	0
		決算額	0	0	0	0
事業の概要	・主要観光地から市内の他の観光地へと訪れる観光客が少なく、全体として、滞在時間が短く「一点立ち寄り型観光（通過型観光）」の傾向にあるため、市内に点在する豊富な観光資源や体験プログラムを結び付ける周遊ルートを構築し、周遊する仕掛けづくりを行うことで地域活性化に結びつけます。					

事業名	文化財保護事業	年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
		予算額	16,353	0	0	0
		決算額	0	0	0	0
事業の概要	・地域に伝わる貴重な文化財を後世に継承していくため、指定文化財の保存、管理、公開の取組みを進めます。 ・各種開発により消滅する埋蔵文化財を記録保存するため、調査を行います。 ・指定文化財である無形民俗文化財を後世に継承していくため、保存会への支援を行います。					

4. 事業

(千円)

事業名	苗木城跡整備事業	年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
		予算額	13,263	0	0	0
		決算額	0	0	0	0
事業の概要	・国史跡に指定され、本市の貴重な歴史文化遺産である苗木城跡の魅力をより向上させるため、「史跡苗木城跡整備基本構想」に基づき、計画的に石垣の修復や遺構の整備などを行うことで、歴史資源と観光資源両面から磨きをかけていきます。					

事業名	苗木遠山史料館事業	年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
		予算額	16,626	0	0	0
		決算額	0	0	0	0
事業の概要	・苗木遠山家史料や旧苗木藩領内の歴史的・文化的遺産を中心に、調査、研究し、収蔵品を公開します。 ・市民の生涯学習や文化活動を積極的に支援し、地域文化の紹介に努め「人々がかがやくまち中津川：歴史文化に魅力があるまち」を目指します。 ・サポーターポイント制度によるボランティアを充実し、親しみやすい運営、活動を展開します。					

事業名	道路新設改良事業	年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
		予算額	567,633	0	0	0
		決算額	0	0	0	0
事業の概要	・交通の利便性と安全性の確保および生活基盤の向上と地域間の交流の活性化を図ります。					

事業名	(仮称) 神坂スマートインターチェンジ事業	年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
		予算額	561,203	0	0	0
		決算額	0	0	0	0
事業の概要	・広域観光として周辺地域と連携強化を図り、馬籠などへの観光誘客を推進させます。また、災害等の緊急時に高速道路外への避難や緊急車両の進入などのため、現在の神坂PAに出入り口（スマートインターチェンジ）を設置します。					

事業名	道路新設改良事業（用地対策）	年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
		予算額	10,730	0	0	0
		決算額	0	0	0	0
事業の概要	・市民生活に欠かすことのできない生活関連道路整備が円滑に施工できるよう、用地を早期に取得します。 ・交通の利便性と安全性の確保および生活基盤の向上と地域間の交流の活性化を図ります。 ・道路等基盤整備事業を円滑に施工するため、先行して用地の取得を行います。					

事業名		年度				
		予算額				
		決算額				
事業の概要						

事業名		年度				
		予算額				
		決算額				
事業の概要						

令和 5年度事業計画書・事業評価書

1. 事業概要

事業名			(仮称) 神坂スマートインターチェンジ事業			事業期間		令和 5年度から 令和 8年度まで		
部・局名			■【建設部】			課・所属名		建設課		
予算科目			会計		款		項		目	
			1 一般会計		8 土木費		2 道路橋りょう費		3 道路新設改良費	
施策体系	大区分		3 活気あふれるまち			中区分		2 便利に暮らせるまち		
	小区分		1 道路等基盤の整備			戦略施策		11-1-3 人の流れを地域にみちびくまちづくり		
事業の概要	・広域観光として周辺地域と連携強化を図り、馬籠などへの観光誘客を推進させます。また、災害等の緊急時に高速道路外への避難や緊急車輛の進入などのため、現在の神坂PAに出入り口（スマートインターチェンジ）を設置します。									
中長期的な目標	・神坂PAスマートインターチェンジの整備により広域的な道路網を形成します。 リニアを活かした道路などの整備に満足している市民の割合[市民意識調査]：45% 神坂PAスマートインターチェンジの事業進捗率：100%									
中長期的な効果	・馬籠地区を含めた市内全域への観光客が増加し、周遊観光や広域観光を支援します。 ・木曽南部地域における第3次救急医療施設への60分圏域が拡大し、重症外傷者の救命率が向上します。 ・国道19号における大雨や土砂災害による通行規制の危険性がある区間の代替ルートを確保します。									
事業費	年度区分	予算額(千円)	財源内訳(千円)				決算額(千円)			
			国・県補助金	地方債	その他	一般財源				
	令和 5年度	561,203	200,000	280,200	0	81,003	0			
	令和 6年度	0	0	0	0	0	0			
	令和 7年度	0	0	0	0	0	0			
	令和 8年度	0	0	0	0	0	0			

2. 指標

指標名	神坂PAスマートインターチェンジ の事業進捗率		指標説明	予算書資料掲載指標		単位 %
年度	令和 5年度	令和 6年度		令和 7年度	令和 8年度	
目標	-	-		-	100%	
実績						
実績の根拠						

指標名			指標説明			単位
年度	令和 5年度	令和 6年度		令和 7年度	令和 8年度	
目標						
実績						
実績の根拠						

指標名			指標説明			単位
年度	令和 5年度	令和 6年度		令和 7年度	令和 8年度	
目標						
実績						
実績の根拠						

指標名			指標説明			単位
年度	令和 5年度	令和 6年度		令和 7年度	令和 8年度	
目標						
実績						
実績の根拠						

3. 事業評価

令和 5年度事業の内容

- ・神坂44号線道路改良工事（上り線県道工区）
道路改良工 L=200m
- ・神坂44号線道路改良工事（下り線県道工区）
道路改良工 L=100m
- ・NEXCO中日本への工事委託
上り線L=190m、下り線L=175m

令和 5年度事業の評価結果

- ・神坂スマートインターチェンジなどの事業が進んでいるところであるが、観光産業をいかにお金に結び付けていくかが重要である。そのためには、可能である限り早く情報を民間と共有し、民間の知見も活用していくと、より面白い展開にもなるのではないかと。
- ・神坂スマートインターチェンジやリニア中央新幹線の工事について、災害に対する備えとしても非常に大きい意味をもつ。近年頻発する大雨や、予見される地震などの際にも、移動手段と経路が複数確保されるということは重要である。

令和 5年度事業の改善事項等

令和 5年度事業の実績

令和 5年度事業計画書・事業評価書

1. 事業概要

事業名		外国人観光促進事業				事業期間	令和 5年度から 令和 8年度まで	
部・局名		■【商工観光部】			課・所属名		観光課	
予算科目		会計		款		項		目
		1 一般会計		7 商工費		1 商工費		3 観光費
施策体系	大区分	3 活気あふれるまち			中区分	4 市外との交流が盛んで、訪れたいまち		
	小区分	1 観光振興			戦略施策	11-1-3 人の流れを地域にみちびくまちづくり		
事業の概要	・リニア開業を見据え、国際的に選ばれる観光地となるため、国県と歩調を合わせ外国人観光客の誘客に積極的に取り組みます。 ・外国人目線でのSNSやブログによる多言語での情報発信を強化し、本市を知る機会を増やすことで、外国人観光客の増加を図るとともに、市内での滞在時間、観光消費額の増加につなげるための仕組みづくりに官民連携して取り組みます。							
中長期的な目標	・観光客の増加を図ります。 観光入込客数：555万人/年 ※入込客数は、「県観光入込客統計調査（暦年集計）」に基づく。							
中長期的な効果	・国内からの観光客だけではなく外国人観光客も誘客することにより、さらなる観光入込客数の増加、交流の促進、地域経済の活性化が図られます。							
事業費	年度区分	予算額(千円)	財源内訳(千円)				決算額(千円)	
			国・県補助金	地方債	その他	一般財源		
	令和 5年度	2,883	800	0	500	1,583	0	
	令和 6年度	0	0	0	0	0	0	
	令和 7年度	0	0	0	0	0	0	
	令和 8年度	0	0	0	0	0	0	

2. 指標

指標名	海外向け情報発信数		指標説明	海外向け情報発信数		単位 件
年度	令和 5年度	令和 6年度		令和 7年度	令和 8年度	
目標	25	25		25	25	
実績						
実績の根拠	委託業務実績報告					

指標名			指標説明			単位
年度	令和 5年度	令和 6年度		令和 7年度	令和 8年度	
目標						
実績						
実績の根拠						

指標名			指標説明			単位
年度	令和 5年度	令和 6年度		令和 7年度	令和 8年度	
目標						
実績						
実績の根拠						

指標名			指標説明			単位
年度	令和 5年度	令和 6年度		令和 7年度	令和 8年度	
目標						
実績						
実績の根拠						

3. 事業評価

令和 5年度事業の内容

- ＜情報発信事業＞ 700千円
 - ・外国人ライター等を活用した海外への情報発信（企業版ふるさと納税活用事業）
- ＜受入れ体制構築事業＞ 1,835千円
 - ・インバウンド案内体制強化
 - ・妻籠－馬籠Wi-Fiの管理運営 8スポット
- ＜外国人観光客誘致促進協議会事業＞ 200千円
 - ・旅行会社、メディア等へのプロモーション

令和 5年度事業の評価結果

- ・コロナ禍が明けて、インバウンドが大分増えてきているが、今来ている観光客は、飲んで騒いでという感じではなく、明日の予定を時間かけてお店の中で考えながら、普通の定食を食べて帰っていかれるとのことで、店舗からは手間と時間はかかるが、収益に繋がらないという声が聞かれる。一方で、外へ出てみるとそういった外国人の方々が路地裏で写真を撮って歩いているというような風景をよく見る。そういうところにもツアーを組む、ツアーの中で物が買えるところに連れて行くなどの、地域にお金を落とす仕掛けが必要である。そういったところに市として一歩前へ出ていけるとよい。

令和 5年度事業の改善事項等

令和 5年度事業の実績

令和 5年度事業計画書・事業評価書

1. 事業概要

事業名		周遊観光促進事業				事業期間	令和 5年度から 令和 8年度まで
部・局名		■【商工観光部】			課・所属名	観光課	
予算科目		会計		款	項	目	
		1 一般会計		7 商工費	1 商工費	3 観光費	
施策 体系	大区分	3 活気あふれるまち			中区分	4 市外との交流が盛んで、訪れたいまち	
	小区分	1 観光振興			戦略施策	11-1-3 人の流れを地域にみちびくまちづくり	
事業の概要		・主要観光地から市内の他の観光地へと訪れる観光客が少なく、全体として、滞在時間が短く「一点立ち寄り型観光（通過型観光）」の傾向にあるため、市内に点在する豊富な観光資源や体験プログラムを結び付ける周遊ルートを構築し、周遊する仕掛けづくりを行うことで地域活性化に結びつけます。					
中長期的な目標		・宿泊者数の増加を図ります。 宿泊者数：179千人/年 ※宿泊者数は、市独自の宿泊者数調査による					
中長期的な効果		・周遊観光の促進により市内での滞在時間および観光消費額の増加が図られます。					
事業費	年度区分	予算額(千円)	財源内訳(千円)				決算額(千円)
			国・県補助金	地方債	その他	一般財源	
	令和 5年度	10,904	5,427	0	0	5,477	0
	令和 6年度	0	0	0	0	0	0
	令和 7年度	0	0	0	0	0	0
	令和 8年度	0	0	0	0	0	0

2. 指標

指標名	提供されるプログラム数		指標説明	民間事業者や旅行会社と連携した体験プログラムの造成により提供されるプログラム数	単位 件
年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
目標	49	51	53	55	
実績					
実績の根拠					

指標名			指標説明		単位
年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
目標					
実績					
実績の根拠					

指標名			指標説明		単位
年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
目標					
実績					
実績の根拠					

指標名			指標説明		単位
年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
目標					
実績					
実績の根拠					

3. 事業評価

令和 5年度事業の内容

＜周遊企画等の実施＞ 6,300千円

- ・地歌舞伎と芝居小屋を活用した周遊商品の造成
- ・宿泊プランの造成（新規）

＜周遊滞在を促す情報発信＞ 4,604千円

- ・中津川体験手帖作成 20,000部 （A4カラー刷12頁）
- ・市内周遊・滞在促進パンフレット（グルメガイド）の作成 10,000部（A5カラー刷32頁）
- ・ラッピングバス広告 1台
- ・イベントでの地歌舞伎体験の実施

令和 5年度事業の評価結果

- ・持続可能な観光について、オーバーツーリズムとならないような整備、取り組みが必要である。付知峡などは観光客が多い時期には地域住民の方が身動きが取れないという状況になってしまうことがある。それに対して解決の糸口になり得るのが次世代交通ではないか。付知の道の駅に自家用車を停めて、付知峡内に入ってくるには次世代交通を使ってもらえると良い。次世代交通は人流をみちびくためだけでなく、オーバーツーリズムへの対策としても効果的である。
- ・宿泊のプランを作るときに食材の地域内調達率を高めることについて、事業者からは、どこで買えばいいのかわからない、自分で手配するのが面倒といったことが域内調達率を高めていく上でのネックとしてあるという声が聞かれる。市の地域内食材について、ここに行けば買える、全部調達してもらえるとという体制があるとよい。
- ・神坂スマートインターチェンジなどの事業が進んでいるところであるが、観光産業をいかにお金に結び付けていくかが重要である。そのためには、可能である限り早く情報を民間と共有し、民間の知見も活用していくと、より面白い展開にもなるのではないか。
- ・現在は観光スポットを周るような観光の他に、体験型観光のニーズも高いが、中津川市においては農業体験が良いのではないか。農業は後継者不足が課題となっている。宿泊と栗拾い体験のようなパッケージがあり、そこから中津川市の栗のファンなどの、いわゆる関係人口へと繋がり、最終的には将来の農業の担い手に繋がっていくような、観光と農業の連携のような取り組みを進めるのもよいのではないか。
- ・周遊・滞在・宿泊というキーワードの中で、やはりお金を落としてもらうことが肝要である。今日視察した中でも、落合宿などでは非常に熱心にコンテンツを磨き上げようとしている。もともと中津川には恵那山をはじめ、宿場町としてのコンテンツもあり、苗木城跡もあるなど、本当に魅力的な観光コンテンツがちりばめられている土地である。そういった資源を連携して、周遊につなげ、滞在させ、宿泊させていくところの仕掛けが見えづらい。連携によって市の資源を活用し、人の流れを地域にみちびくことで、地域が潤い、活気づくように尽力いただきたい。
- ・リニア工事をめぐるツアーパックみたいなものを食事なども含めた形で1日組むとニーズがあるのではないか。それに限らずリニアについて、完成をただ待つのではなく、工事そのものの過程にも価値を見出して活用できるとよい。

令和 5年度事業の改善事項等

令和 5年度事業の実績

令和 5年度事業計画書・事業評価書

1. 事業概要

事業名			次世代交通研究事業			事業期間		令和 5年度から 令和 8年度まで		
部・局名			■【理事直轄】			課・所属名		次世代交通研究室		
予算科目			会計		款		項		目	
			1 一般会計		2 総務費		1 総務管理費		6 企画振興費	
施策体系	大区分		1 人々がかがやくまち			中区分		4 地域の活力があるまち		
	小区分		4 地域公共交通			戦略施策		11-1-3 人の流れを地域にみちびくまちづくり		
事業の概要	・東京大学との共同連携「超高速交通網と接続する分散型拠点の設計と地域の持続的在り方に関する共同研究」の成果を実現し、リニア中央新幹線や中央自動車道神坂PAスマートインターチェンジなど、新たな交通網と中心市街地や地域の拠点を結び、地域交通の維持向上や持続的に発展するまちづくりを進めます。									
中長期的な目標	・新たなモビリティサービス（自動運転技術の導入やシェアリング等）が検討され、地域特性に合った交通網が整備されます。 利便性の高い公共交通の整備への満足度[市民意識調査]：34% 整備する集落内拠点施設の利用者数（実証実験中）：20人/日									
中長期的な効果	・新たな交通網と中心市街地や地域の拠点を結ぶことで、地域交通の維持向上や持続的に発展するまちづくりにつなげます。									
事業費	年度区分	予算額(千円)	財源内訳(千円)				決算額(千円)			
			国・県補助金	地方債	その他	一般財源				
	令和 5年度	8,746	0	0	0	8,746	0			
	令和 6年度	0	0	0	0	0	0			
	令和 7年度	0	0	0	0	0	0			
	令和 8年度	0	0	0	0	0	0			

2. 指標

指標名	新たな公共交通サービスの利用客数		指標説明	新たな公共交通サービスの利用客数	単位 回/人
年度	令和 5年度	令和 6年度		令和 7年度	令和 8年度
目標	16	16		16	16
実績					
実績の根拠	バス・コミュバス/R3. 4. 1人口 85,570/5,377				

指標名	集落内の観光客（熊谷守一つけち記念館の入館者数）		指標説明	集落内の観光客（熊谷守一つけち記念館の入館者数）	単位 人
年度	令和 5年度	令和 6年度		令和 7年度	令和 8年度
目標	2,200	2,200		2,200	2,200
実績					
実績の根拠	R2入り込み数2167人				

指標名	整備する集落内拠点施設の利用者数		指標説明	整備する集落内拠点施設の利用者数（実証実験中の1日あたり）	単位 人/日
年度	令和 5年度	令和 6年度		令和 7年度	令和 8年度
目標	20	20		20	20
実績					
実績の根拠					

指標名			指標説明			単位
年度	令和 5年度	令和 6年度		令和 7年度	令和 8年度	
目標						
実績						
実績の根拠						

3. 事業評価

令和 5年度事業の内容

＜付知町地区をモデルとして研究成果を実装へ移行＞ 8,000千円

- ・住民との将来のまちづくりについて考える意見交換会の実施 2回
- ・集落内拠点を活用した自動運転の実証実験の計画、実施
- ・自動運転予約アプリ上に、地域資源や歴史、文化の情報を掲載
- ・集落内拠点の持続性のある運営方法の検討
- ・オンライン拠点として、ホームページによる集落内拠点の機能等の情報発信に加え、歴史、文化、自然などの情報発信

- ・自動運転ネットワークの接続拠点としての道の駅（花街道付知）の将来像（基本構想、基本計画）の検討

令和 5年度事業の評価結果

- ・持続可能な観光、観光地経営について、オーバーツーリズムとならないような整備、取り組みが必要である。付知峡などは観光客が多い時期には地域住民の方が身動きが取れないという状況になってしまうことがある。繁忙期と閑散期のギャップが大きすぎて整備が難しいところがある。それに対して解決の糸口になり得るのが次世代交通ではないか。付知の道の駅に自家用車を停めて、付知峡内に入ってくるには次世代交通を使ってもらえると良い。次世代交通は地域内の小さな拠点をそれぞれ結んで、最終的にはリニア岐阜県駅、大きな拠点に結びつける自動運転ネットワークそして公共交通となるため、人流をみちびくためだけではなく、オーバーツーリズムへの対策としても効果的である。

令和 5年度事業の改善事項等

令和 5年度事業の実績

令和 5年度事業計画書・事業評価書

1. 事業概要

事業名		苗木城跡整備事業				事業期間	令和 5年度から 令和 8年度まで	
部・局名		■【文化スポーツ部】			課・所属名	文化振興課		
予算科目		会計 1 一般会計		款 10 教育費		項 6 社会教育費		目 3 文化振興費
施策体系	大区分	1 人々がかがやくまち			中区分	6 歴史文化に魅力があるまち		
	小区分	1 歴史・文化			戦略施策	11-1-3 人の流れを地域にみちびくまちづくり		
事業の概要	・国史跡に指定され、本市の貴重な歴史文化遺産である苗木城跡の魅力をより向上させるため、「史跡苗木城跡整備基本構想」に基づき、計画的に石垣の修復や遺構の整備などを行うことで、歴史資源と観光資源両面から磨きをかけていきます。							
中長期的な目標	・苗木城跡を整備し、地域の歴史や文化を保護するとともに、地域の魅力を磨き上げます。 見学者数：150,000人/年							
中長期的な効果	・当時の姿を復元するために石垣整備などを実施することで、史跡としての価値や景観を向上し、観光活用につなげます。							
事業費	年度区分	予算額(千円)	財源内訳(千円)				決算額(千円)	
			国・県補助金	地方債	その他	一般財源		
	令和 5年度	13,263	3,712	0	72	9,479	0	
	令和 6年度	0	0	0	0	0	0	
	令和 7年度	0	0	0	0	0	0	
	令和 8年度	0	0	0	0	0	0	

2. 指標

指標名	整備進捗率		指標説明	整備進捗率		単位 %
年度	令和 5年度	令和 6年度		令和 7年度	令和 8年度	
目標	95.4	95.4		95.4	95.4	
実績						
実績の根拠	R3 92.8%(石垣整備延長529m/570m)					

指標名	苗木城跡見学者数		指標説明	予算書資料掲載指標	単位 人/年
年度	令和 5年度	令和 6年度		令和 7年度	令和 8年度
目標	-	-		-	150,000
実績					
実績の根拠					

指標名			指標説明			単位
年度	令和 5年度	令和 6年度		令和 7年度	令和 8年度	
目標						
実績						
実績の根拠						

指標名			指標説明			単位
年度	令和 5年度	令和 6年度		令和 7年度	令和 8年度	
目標						
実績						
実績の根拠						

3. 事業評価

令和 5年度事業の内容

- ・大手口道整備工事 排水路の設置：6か所、石段への石補充：2か所、擬木による階段設置：1か所（全体計画の「見学ルート遺構整備」に位置づけ）

『参考』

- ・事業期間：S59年度～R10年度（予定）
- ・全体計画：全体を第1～4次に分け、「見学ルート整備」「石垣整備」「本丸跡整備」「見学ルート遺構整備」を実施
- ・総事業費：647,302千円（概算）
- ・事業計画：R6年度 武家屋敷遺構調査、西古道地形測量
R7年度 西古道復旧工事
R8年度 三の丸跡修復工事、外郭部石垣立面図作成
R9年度 外郭部石垣修復工事、井戸跡調査・修復工事
R10年度 竹門跡～風吹門跡道工事、総合説明板設置工事

令和 5年度事業の評価結果

- ・苗木城跡の修復の為の調査によって取得したデータも、活用できるものは活用していけると良い。例えば、苗木城跡の石垣の石を3Dプリンターなどで1個ずつ作成して、それを積み重ねていくと苗木城跡の石垣ができるようなキットを販売するなど、そういった商業的な転用ができるような発想が必要である。修復に際して様々なデータを公開したり、いろいろなところに共有することによって、もっと面白いことができるのではないかな。
- ・苗木城跡を観光資源として見たときに特に魅力的なのは、朝の雲海である。雲海が出る時に行ってみたい、写真を撮りたいという人がいると思う。そういった人々をターゲットに雲海の予報を市が出し、その情報を宿泊施設に流して、朝の苗木城跡に行くツアーを計画したりするのは効果的ではないかな。そのように文化と観光がうまく連携していくようなことが進んでいくと、より魅力的になっていくのではないかな。
- ・苗木城跡の展望台に360度カメラを置いて毎日撮影しておくと、リニア中央新幹線が完成した際には観光資源になるのではないかな。また、そのカメラで撮った画像を公開して、雲海の様子が見えるようにするなどすれば、誘客にもつながるのではないかな。

令和 5年度事業の改善事項等

令和 5年度事業の実績

令和 5年度事業計画書・事業評価書

1. 事業概要

事業名		文化財保護事業				事業期間		令和 5年度から 令和 8年度まで	
部・局名		■【文化スポーツ部】			課・所属名		文化振興課		
予算科目		会計 1 一般会計		款 10 教育費		項 6 社会教育費		目 3 文化振興費	
施策 体系	大区分	1 人々がかがやくまち			中区分	6 歴史文化に魅力があるまち			
	小区分	1 歴史・文化			戦略施策	11-1-3 人の流れを地域にみちびくまちづくり			
事業 の 概要	・地域に伝わる貴重な文化財を後世に継承していくため、指定文化財の保存、管理、公開の取組みを進めます。 ・各種開発により消滅する埋蔵文化財を記録保存するため、調査を行います。 ・指定文化財である無形民俗文化財を後世に継承していくため、保存会への支援を行います。								
中長 期的 な 目 標	・文化財の適切な保存により、市民が地域の歴史や文化に誇りを持てるようにします。 ・地域にある文化資源を保存、整備し、観光資源としても有効活用します。 指定文化財の件数：292件								
中長 期的 な 効 果	・指定文化財の適切な保存により、地域の歴史を後世に伝えることができます。 ・指定文化財の件数が増えることで見学に訪れる人が増え、地域の観光振興につながります。								
事業 費	年度区分	予算額(千円)	財源内訳(千円)				決算額(千円)		
			国・県補助金	地方債	その他	一般財源			
	令和 5年度	16,353	0	0	0	16,353	0		
	令和 6年度	0	0	0	0	0	0		
	令和 7年度	0	0	0	0	0	0		
	令和 8年度	0	0	0	0	0	0		

2. 指標

指標名	史跡・天然記念物の標柱・説明看板 の設置率		指標説明	史跡・天然記念物の標柱・説明 看板の設置率		単位 %
年度	令和 5年度	令和 6年度		令和 7年度	令和 8年度	
目標	89.7	92.5		94.5	97.3	
実績						
実績の根拠	R3 87.7%(史跡・天然記念物の標柱・説明看板の設置率)					

指標名	落合宿本陣保存、整備事業の進捗率		指標説明	落合宿本陣保存、整備事業の進 捗率		単位 %
年度	令和 5年度	令和 6年度		令和 7年度	令和 8年度	
目標	5	10		20	30	
実績						
実績の根拠						

指標名			指標説明			単位
年度	令和 5年度	令和 6年度		令和 7年度	令和 8年度	
目標						
実績						
実績の根拠						

指標名			指標説明			単位
年度	令和 5年度	令和 6年度		令和 7年度	令和 8年度	
目標						
実績						
実績の根拠						

3. 事業評価

令和 5年度事業の内容

<文化財保護事業> 9,845千円

- ・指定文化財の保存管理(管理謝礼) 140件
- ・指定文化財標柱、案内板の設置 13基(劣化交換含む)
- ・各種開発に伴う埋蔵文化財の調査
- ・無形民俗文化財の保存、継承に対する支援 交付金の交付 6件
- ・未指定文化財の調査把握

<落合宿本陣整備計画策定事業> 6,508千円

- ・落合宿本陣整備計画策定準備調査

落合宿本陣整備計画を策定するにあたり、土蔵・離れの価値付けを行い、保存活用計画に追補

『参考』

- ・指定文化財の件数：287件（R4年度末）

令和 5年度事業の評価結果

- ・文化財の活用について、観光に利用しようとしたときに、どれくらいの見学者数を目指していくのかという目標が必要であるが、その設定には観光部局などと連携しながら地域全体で総合的に検討できるとよい。

令和 5年度事業の改善事項等

令和 5年度事業の実績